重要課題特定のプロセス

メガトレンド分析：ステークホルダー変化の特定 7分類57項目

- 人口動態/環境/社会/ガバナンス/経済/政治/テクノロジーの7分類57項目を基に、それぞれについてのグローバルトレンドと、ステークホルダーの嗜好変化、住友林業グループへの影響を特定。

リスク・機会の洗い出し 59項目

- メガトレンドとステークホルダーの変化に基づいて、59項目のリスク・機会を洗い出し。

リスク・機会の確実性・インパクト評価

- 59項目のリスク・機会について、「インパクト×確実性」による評価を実施。

重要なリスク・機会 13項目

- インパクト大かつ確実性が高～中の13項目を「重要なリスク・機会」として特定。

課題項目の洗い出し 35項目

- メガトレンド、ステークホルダーの変化に対する、住友林業グループの提供価値35項目を抽出。

アンケート実施（社内・社外の約6,500人）

- 初めて海外子会社も含め、役員/社員/お客様/取引先/投資家/ メディア/ アカデミア/NGO/学生などに実施。
- 住友林業グループに期待する役割や、長期的に取り組むべき課題のうち重要なもの。

インタビュー実施 役員、管理職および若手社員

アンケート結果の裏付け

社員の声

重要課題 9項目

- アンケートの上位項目に、重要なリスク・機会からインパクト大の項目を加え、「9つの重要課題」を特定。